

事業名	アオノリ養殖概況
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当) 笠井謙太郎
共同研究機関等	

<目的>

本県のスジアオノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取りを行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり10月上旬から天然採苗が開始され、概ね順調に採苗が行われた。本養殖開始後、吉野川における高水温の影響などにより11月中にはあまり藻体が生長せず、生産には至らなかったものの、12月に入ると昨年度同様にまとまった生産となった。また、1月には例年に見えない生長がみられ、1月中旬から2月上旬にかけて生産量が増加したが、色調が改善せず品質が低下し、2月に終漁となった。

令和3年度漁期の生産数量は36,464kgであった。前年と比較すると1月以降の生産量の増加により、233%と大幅に増えたものの、色落ちと夾雑物の混入による品質低下から平均単価は13,557円/kgと前年比69%となった。

<今後の課題>

スジアオノリ漁場における調査で得た環境データと漁場ごとの生産状況から不作の原因を検討する必要がある。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

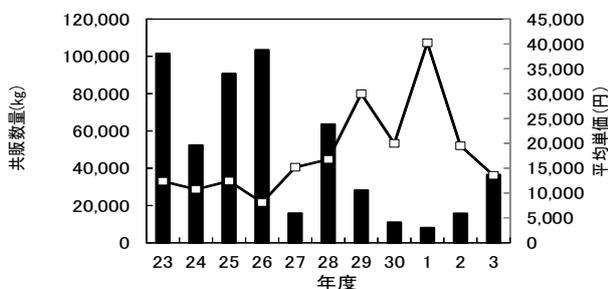


図1.年度別共販数量と平均単価の推移

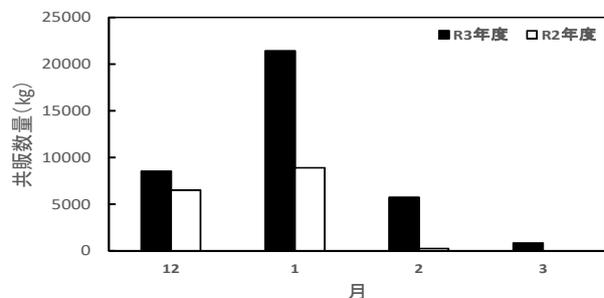


図2.共販数量の経月変化